



# 町の話

## 地域の環境美化活動を行いました 道路清掃ボランティア

秋田わか杉国体で町を訪れる多くの皆さんを、きれいな環境で迎えるため、町の道路清掃ボランティア活動が9月15日、町内3地区で行われました。

参加した延べ64人の町民の皆さんは、千畑ラベンダー園と六郷あらしな公園、仙南カントリーパークの周辺などを地区ごと分かれて清掃。公園外の斜面や道路わきの木陰など、目立たない場所に投げ捨てられた空き缶や紙くずの多さを目の当たりにして、『不法投棄』という心無い行為についてあらためて考えさせられました。

参加していただいた一般ボランティアの皆さん、そして全面的にご協力いただいた美郷町奉友会の皆さん、ご協力ありがとうございました。



▲仙南カントリーパーク付近



▲六郷あらしな公園付近



▲千畑ラベンダー園付近



▲写真左から佐藤文隆県仙北地域振興局長、樽川隆県議会議員、松田町長、佐藤辰雄推進協議会長

## 竣工を記念した石碑の除幕式が行われました 土崎小荒川地区担い手育成基盤整備事業

平成10年度に「土崎小荒川地区担い手育成基盤整備事業」として採択された、本町の土崎および小荒川地域のほ場整備事業の竣工記念碑除幕式が9月2日、土崎コミュニティーセンターで行われました。

除幕式では、同事業推進協議会をはじめとする約200人が見守る中、事業主体である県仙北地域振興局の佐藤文隆局長、推進協議会の佐藤辰雄会長らの関係者により、記念碑の除幕が行われました。

この事業では、地域の資源である湧水とイバラトミヨをはじめとする生物の生態系を保全することを考慮して整備されており、湧水周辺は子どもたちの環境学習の場とともに、散策コースの拠点としても期待されています。

## 自己決定の方法を分かりやすく解説 思春期の心を育てる子育て講座

思春期を迎えた子どもがいる家庭での親子関係などをテーマにした「思春期の心を育てる子育て講座」が9月5日、仙南公民館で行われ、町内3つの中学校2年生と地域の子育て世代の町民ら約300人が参加しました。

この日は、文教大学大学院特別講師で臨床心理士の秋山邦久先生が「幸せな未来のために」と題して講演。秋山先生は「2つ以上の選択肢があったときには、その選択肢のマイナス面を比較して、どちらなら自分が納得して責任をとれるかを十分に考えて自己決定することが大切」などと、思春期の悩みや高校入試をはじめとする人生の岐路を控えた中学生に語りかけ、参加者らは熱心に聞き入っていました。



◀気さくな話し方で会場を引き付ける秋山邦久先生



▲千畑中学校吹奏楽部の皆さん

## 千畑中と六郷小が日ごろの練習の成果を発揮 全日本吹奏楽コンクール東北大会

全日本吹奏楽コンクール第50回東北大会が、9月8日から9日の2日間にわたって青森市文化会館で開かれ、本町から千畑中学校吹奏楽部と六郷小学校音楽部が出場しました。

会場には多くの家族やOB、吹奏楽ファンらが駆けつけ、声援を送っていました。ステージ袖では、演奏の順番を待つ部員が、高まる緊張の中、お互いに励ましあい、意思統一を図る姿がみられました。

ステージ上での両校の皆さんは、これまでの練習の成果を十分に発揮し、自分たちの演奏技術や表現を会場いっぱい響かせ、演奏後には達成感に満ちた笑顔があふれていました。

両校の部員の皆さんにとって今回の大会は、日ごろの練習の成果を発揮するとともに、他校の演奏に触れる機会となり、今後の活動にとっても貴重な体験となりました。

なお、各校の結果は次のとおりです。

(初出場)千畑中学校 銀賞

(3年連続出場)六郷小学校 銅賞



▲六郷小学校音楽部の皆さん

お手玉をはじめとする昔ながらの遊びを体験



## さまざまな遊びに子どもたちが夢中に取り組む 美郷町・六郷チビツ子フェスティバル

2007美郷町・六郷チビツ子フェスティバル(同実行委員会・青少年育成美郷町民会議主催)が9月8日、六郷体育館を会場に開かれました。

本町の友好都市・東京都大田区で毎年開かれている「大田区子どもガーデンパーティー」のようなイベントを本町でも開きたいと、平成5年から行われているこのイベントでは、老人クラブの皆さんによる縄ないやお手玉などのコーナーのほか、町内の企業・団体がそれぞれ趣向を凝らしたコーナーを設け、子どもたちが自らおもちゃを作ったり、体を動かして遊んだりすることができます。

会場に隣接する六郷保健センター前には、広域消防本部のはしご車や救急車、県警の白バイの体験コーナーも設けられ、目を輝かせながら参加する子どもたちの姿がみられました。

◀白バイの試乗や消防服の試着もできました



## 茶道をもっと身近に 六郷名水茶会

美郷町観光協会主催による六郷名水茶会が9月9日、名水市場「湧太郎」と浄光寺、楽宝寺を会場に開かれました。この日、お手前を披露したのは表千家と裏千家、玉川遠州流、横手城南高校茶道部の皆さん。毎年この時期に開かれる茶会には、今年も町内外から多くの方々を訪れ、流派ごとのお茶の味や作法の違いを楽しみながら各会場を巡っていました。

茶道に親しむ機会にしてもらいたいとの思いを表すように、今年は秋田わか杉国体キャラクター「スキッチ」が描かれた茶わんでお茶を点てる流派があったほか、お母さんに連れられた小さな子どもたちが満足げに抹茶を口に運ぶ姿がみられたりするなど、茶道を身近に感じることができるのも、このお茶会の楽しみのひとつです。



▲楽宝寺では横手城南高校茶道部の皆さんがお手前を披露しました

## 国体自転車競技ロード・レース・コースを体験 第4回サイクルスタンプラリー

ことしで4回目を迎えたサイクルスタンプラリーin美郷(美郷町サイクルタウン協議会主催)が9月9日、役場六郷庁舎前をスタート地点して町内で開かれました。町内外から105人が参加しました。

今回のコースは、国体自転車競技の特設ロード・レースのコースとほぼ同じ道のりを巡る「チャレンジコース(約37km)」と、一部ショートカットされた「らくらくコース(約31km)」の2コースで、予想以上に高低差がある厳しいコースに、国体選手のすごさを感じながら、一生懸命にペダルを漕ぐ参加者の姿が見られました。

その後、名水市場「湧太郎」で豪華賞品が当たる抽選会が行われ、お目当ての賞品を逃した参加者の中には「来年も参加する」と、早くも次回の参加を宣言して会場を沸かせる人もいました。

▲外川原付近のきつい上り坂にさしかかる参加者ら



## 国体関係者をきれいな環境で迎えたい 大仙・仙北塗装業組合

大仙・仙北塗装業組合(田口長治郎組合長)が9月13日、ボランティアで六郷自転車競技場に隣接する施設などの塗装作業を行いました。

同組合は毎年、日ごろ培った塗装技術で地域に貢献するとともに、同業者が集まって作業することによる技術の向上を目的として、地域内の公共施設で奉仕活動を行っています。

この日は同組合から16人が参加。作業員の皆さんは、高所作業車や組まれた足場上がり、街灯のポールや競技場入口の看板塔などの塗装作業に取り組みました。

田口組合長は「全国各地からこの町を訪れる国体関係者の皆さんを、きれいな環境で迎えたい」と話し作業を見守っていました。



▲自転車競技場入口の看板塔の作業に取り組む作業員の皆さん